

## 第20回APCTP日本委員会会合議事録

日時：2022年3月30日（水）15:00～ 16:45

会場：<https://us06web.zoom.us/j/82390093188> (Web会議接続)

出席者（順不同、敬称略）：

河本昇（北海道大学、委員長）、白水徹也（名大多元数理）、原田正康（名大）、求幸年（東大工）、横山順一（東大ビッグバン宇宙国際研究センター）、大西 明（基研）、犬塚修一郎（名大理）、桂法称（東大理）、初田哲男（理研）、磯暁（KEK）、青木慎也（京大基研）、藤川和男（理研）、多田司（理研仁科センター、事務局）

オブザーバー：原田知広（立教大学、次期委員）、木村真明（理研仁科センター、次期委員）、広野 雄士（APCTP JRGリーダー）

欠席者（順不同、敬称略）：菅原寛孝（KEK）、九後汰一郎（京都産業大学）、田中貴浩（京大理）、村上修一（東工大）、保坂淳（阪大RCNP）、押川 正毅（東大物性研）、橋本幸士（阪大理）、

会合冒頭、河本委員長の発意で出席者の自己紹介が行われた。

### 1. 前回議事録承認

前回会合である第19回APCTP日本委員会議事録が承認された。

### 2. General Council報告

第24回General Councilについて出席した磯委員から報告があった。APCTPの活動について、会議等が減っていること、JRGグループについて、予算について説明が行われた。Externalプログラム等への積極的な応募が期待されていることおよび、日本から桂委員がインドと合同でCooperative External Activityが提案されたことが紹介された。横山委員より補足としてGyeongjuで開催予定と報告されたAAPPSの国際会議についてはコロナの状況の悪化によりオンラインでの開催になったことが報告された。

### 3. APCTP理事会報告

第37回および第38回理事会の報告がAPCTP理事会の議長である河本委員長より行われた。第37回理事会においては、member entity、member institute、partner instituteについて整理が行われ、日本からはIPNS/KEKがmember entityとして、YITP,ISSP,RIKEN,RCNP,RESCEUがmember instituteとして正式に位置付けられたこと、APCTPの韓国における位置付けについて働きかけるための将来計画委員会が発足し、河本委員長もメンバーとなったこと、所長選考委員会が発足したこと、予算案、人事について（Science Advisory Groupリーダーとして佐々木節氏および永長直人氏、AuditorとしてKEKの五味田将氏の承認含む）、参加費の免除減免について決定されたことなどが報告された。Executive Directorの人事の背景についてコメントがあった。第38回理事会ではJRGリーダーの就職状況が良いこと、決算および予算計画が承認されたこと等が報告された。

横山委員よりメンバーシップフィーの免除について質問があり、これまで全く払っていない

国もあり、それが理事会で認められてきたことが説明された。

大西委員より、所長とExecutive Directorの関係について質問があり、これまでの経緯について説明があった。

4. オブザーバーとして参加のJRGグループリーダーの広野氏により現場からの率直な意見が披露され、委員と意見交換を行った。

7. 本年後半に任期末を迎える日本からのAPCTP理事およびGeneral Councilの推薦について出席委員の時間の都合により順を繰り上げて審議が行われた。

APCTPへの理事の推薦については、現理事の河本委員長が退席し、事務局による議事進行となった。審議の結果全会一致で河本委員長を引き続き理事候補としてAPCTPに推薦することが決議された。議事に復帰した河本委員長からは推薦を受諾する旨表明された。

General Councilについては、第11回APCTP日本委員会会合においてGeneral Councilメンバーは、素粒子分野から1名、物性分野から1名、宇宙および原子核分野から交互に1名を推薦するとされたこと、それによると次回の推薦では、原子核、物性、素粒子の分野からそれぞれ1名ずつの推薦になることが説明された。その分野配分に従い各分野の委員にて推薦者候補をあげ、後日メール審議にて推薦者を決定することとなった。横山委員からいずれにせよ原子核分野からは新しいメンバーとなるので、日本からのGeneral Councilメンバーが全員未経験者とならないよう物性素粒子からの推薦者を調整してほしい旨の発言があった。

5. 来年度の委員について

任期満了を迎える委員の後任の次期委員について、理論天文学宇宙物理学懇談会より原田知広氏(立教大)が推薦されたこと、物性グループより村上修一委員(東工大理)、原子核サブグループより大西明委員(京大基研)、素粒子論サブグループより多田司委員(理研)の再任の連絡があったことが報告された。

また理研仁科センターより推薦の委員を木村真明氏(北大/理研)が次期より務めることが報告された。

6. メンバーシップフィーについて

メンバーシップフィーについて2021年度分のAPCTPへの送金がKEKより行われ、KEKあての分担金の支払いが完了したこと、2022年度の分の請求書がKEKに到着しており、5月以降にAPCTPへの送金、分担金の各研究機関へ請求を行う予定であることが事務局より報告された。

8. その他

横山委員よりAAPSとAPCTPが出しているCN Yang Awardについて、今回よりmembership entityへも推薦の依頼がくることになっているはずであるが状況を問い合わせる発言があり、事務局で確認して折り返すこととなった。APCTPとAAPSの関係についての質問があり、横山委員から説明があった。

2022年8月3日

メール審議

2022年8月3日付けメールにて以下の2件の議案が委員に諮られ、異議なく承認された。

一、General Council推薦の件

2023年1月よりのGeneral Councilメンバーを、以下の通りAPCTPに推薦することとする

宇田川将文氏（学習院大学） 物性分野

木村真明 委員

原子核分野

磯暁 委員

素粒子分野

二、Auditor推薦の件

現在APCTPのAuditorを務めている五味田將（ごみた まさに）氏の後任として

高エネルギー加速器研究機構

国際企画課長

丹生久美子氏

を推薦することとする

以上